

ITC Common Body of Knowledge(CBK) Ver. 1.0 単元一覧 (2005.6.30)

1. 共通カリキュラム

区分	0.0 全体概要	0.1 プロセス&プロジェクトマネジメント	0.2 コミュニケーション	0.3 モニタリング&コントロール
1. 原則		0.1.0 全体概要と基本原則	0.2.0 全体概要と基本原則	0.3.0 全体概要と基本原則
2. カテゴリー	0.0.0 全体概要	0.1.1 プロセスマネジメントの知識	0.2.1 コミュニケーションプロセスプランニング	0.3.1 ビジネス活動・成果のモニタリング&コントロール
		0.1.2 プロセスマネジメントのプロセス	0.2.2 リーダーシップ	0.3.2 IT活動・成果のモニタリング&コントロール
		0.1.3 プロジェクトマネジメントの知識	0.2.3 リレーション形成	
		0.1.4 プロジェクトマネジメントのプロセス	0.2.4 合意形成(アグリーメント)	
			0.2.5 関係維持・調整	
			0.2.6 ダイアログ・デシジョン・プロセス(DDP)	
3. リファレンス		R.1.1 マルコム・ボルドリッジ賞(MB賞)/EQM/日本経営品質賞		R.3.1 COSO
		R.1.2 PMBOK		R.3.2 COBIT

2. フェーズ別カリキュラム

区分	経営戦略フェーズ	IT戦略策定フェーズ	IT資源調達フェーズ	IT導入フェーズ	ITサービス活用フェーズ
1. 原則	.1.1 全体概要と基本原則	.1.1 全体概要と基本原則	.1.1 全体概要と基本原則	.1.1 全体概要と基本原則	.1.1 全体概要と基本原則
	.1.2 経営の成熟度	.1.2 IT化の成熟度	.1.2 IT資源調達の成熟度	.1.2 IT導入の成熟度	.1.2 ITサービス活用の成熟度
2. カテゴリー	.2.1 事業環境分析	.2.1 IT経営の意義	.2.1 IT資源調達計画	.2.1 導入の実施	.2.1 ITサービス提供
	.2.2 戦略	.2.1 業務プロセス・システム最適化	.2.2 RFPの作成と発行	.2.2 業務プロセス改革とチェンジマネジメント	.2.2 IT戦略達成度評価
	.2.3 プロセス改革	.2.3 内外IT環境評価	.2.3 調達先の決定・契約	.2.3 総合テスト・移行	.2.3 IT環境の改革
	.2.4 顧客(満足とマーケティング)	.2.4 IT戦略策定	.2.4 IT導入計画策定		.2.4 業務プロセス改革の提言
	.2.5 知の経営	.2.5 IT戦略展開			
	.2.6 財務マネジメント	.2.6 セキュリティ&リスクマネジメント			
	.2.7 リスクマネジメント				
3. リファレンス	R. .1 COSO ERM	R. .1 エンタープライズアーキテクチャー(EA)	R. .1 サービスコンポーネントリファレンスモデル(SRM)	R. .1 テクニカルリファレンスモデル(TRM)	R. .1 ITCA版 運用提案依頼書(RFP)とSLA
	R. .2 マルコム・ボルドリッジ賞(MB賞)/EQM/日本経営品質賞	R. .2 ビジネスリファレンスモデル(BRM)	R. .2 ITCA版 開発提案依頼書(RFP)とSLA	R. .2 CMM/CMMI/ISO15504(ソフトウェアプロセスマネジメント)	R. .2 ITサービスマネジメント(ITIL)/BS15000
	R. .3 People CMM	R. .3 パフォーマンスリファレンスモデル(PRM)			
	R. .4 JIS Q 2001(リスクマネジメント構築のための指針)	R. .4 データリファレンスモデル(DRM)			
	R. .5 ISO9004(品質マネジメントシステム - パフォーマンス改善の指針)	R. .5 COBIT			
	R. .6 APQC プロセス体系	R. .6 PMBOK			
		R. .7 個人情報保護/ガイドライン類			
		R. .8 ISMS/ISO17799(情報セキュリティマネジメント)			

(注1)リファレンスは、最新のベストプラクティスとなっている標準・規格などを、参考として示している。  
(注2)CBKに記載する個々のリファレンスは、適宜改訂される。このため、バージョン番号を記していない。  
(注3)リファレンスは、重要なフェーズ、または最初に参照されるであろうフェーズに記載している。

ITC Common Body of Knowledge(CBK) Ver. 1.0 KPI一覧 (2005.6.30)

1. 共通カリキュラム

区分	0.0 全体概要	0.1 プロセス&プロジェクトマネジメント	0.2 コミュニケーション	0.3 モニタリング&コントロール
1. 原則		<b>0.1.0 全体概要と基本原則</b> 「プロセス&プロジェクトマネジメント」の進め方について助言または支援ができる。	<b>0.2.0 全体概要と基本原則</b> 「コミュニケーション」の進め方について助言または支援ができる。	<b>0.3.0 全体概要と基本原則</b> 「モニタリング&コントロール」の進め方について助言または支援ができる。
2. カテゴリー	<b>0.0.0 全体概要</b> < KPI > ITCのミッションと提供する価値を理解し、説明できる。 ITCのプロセスと基本原則を理解し、説明できる。 ITC資格制度とITCの養成課程を理解し、説明できる。	<b>0.1.1 プロセスマネジメントの知識</b> < KPI > プロセスマネジメントの知識の概要を理解し、説明できる。 プロセスマネジメントで用いる手法を理解し、説明できる。	<b>0.2.1 コミュニケーション・プロセスプランニング</b> < KPI > コミュニケーション・プロセスの全体プランニングについて説明でき、その実行について助言または支援ができる。 プロセス&プロジェクトごとのコミュニケーション・テーマの整理方法について助言または支援ができる。 知の経営の必要性を説明でき、組織の成熟度に応じた知の経営の導入について、助言または支援ができる。	<b>0.3.1 ビジネス活動・成果のモニタリング&amp;コントロール</b> < KPI > ビジネス活動のモニタリングの目的を理解し、これを実施する方法について助言または支援ができる。 財務・顧客・プロセス・成長と発展等広い視点から、KGI、CSF、KPI等の設定について助言または支援ができる。 実績データの集積手法について、助言または支援ができる。 目標と収集した実績データとの対比手法とこの対比手法の目的を理解しており、これらの実施について助言または支援ができる。 タイムリーな達成度の評価や例外点の捕捉方法を理解し、その対応策について助言または支援ができる。 定期的な評価と監査について、その目的や手法、組織と要員の確保・育成、計画の立案や手続、報告やフォローアップ等の全般について助言または支援ができる。
		<b>0.1.2 プロセスマネジメントのプロセス</b> < KPI > プロセスマネジメントの主要プロセスに必要な知識を理解し、説明できる。 プロセスマネジメントの主要プロセスにもとづいて助言または支援ができる。	<b>0.2.2 リーダークシップ</b> < KPI > 集団意思決定におけるリーダーシップの重要性について説明できる。 集団意思決定の障害を回避する方策について助言または支援ができる。 促進型、指導型、革新型のような新しい形のリーダーシップについて理解し助言または支援ができる。	<b>0.3.2 IT活動・成果のモニタリング&amp;コントロール</b> < KPI > 各フェーズのIT活動の基本原則を理解し、活動のプロセスと成果のモニタリングについて助言または支援ができる。 IT化プロセスのKGI、CSF、KPIを理解し、その設定について助言または支援ができる。 IT化プロセスのKPIのモニタリングについて助言または支援ができる。 「プロセス&プロジェクト」のプロセスを理解し、コントロールの方法について助言または支援ができる。 プロジェクトの完了のプロセスを理解し、モニタリングの実施にむけた助言または支援ができる。 IT成熟度のモニタリングの目的と手法またはシステム監査との関係を理解し、これらについて助言または支援ができる。
		<b>0.1.3 プロジェクトマネジメントの知識</b> < KPI > プロジェクトマネジメントの知識の概要を理解し、説明できる。 プロジェクトマネジメントで用いる主要ツールを理解し、説明できる。	<b>0.2.3 リレーション形成</b> < KPI > 閉鎖的、防衛的な態度ではなく、協力的、肯定的な態度がとれる。 透明性、公正性のある行動ができ、約束を遵守することができる。 期待されている自己の知覚品質を理解して行動できる。	
		<b>0.1.4 プロジェクトマネジメントのプロセス</b> < KPI > プロジェクトマネジメントの主要プロセスに必要な知識を理解し、説明できる。 プロジェクトマネジメントの主要プロセスにもとづいて助言または支援ができる。	<b>0.2.4 合意形成(アグリーメント)</b> < KPI > 問題の性質、本質の分析ができる。 相手の理解度、納得度に応じた説明ができる 段階的に同意を確認し、進めることができる。	
			<b>0.2.5 関係維持・調整</b> < KPI > 依頼元や関係者に結果に対する評価をフィードバックできる。 未解決の問題を明確化でき、解決に向けた助言または支援ができる。 組織において個の能力を最適活用するための手法を理解し、説明できる。	
			<b>0.2.6 ダイアログ・デシジョン・プロセス(DDP)</b> < KPI > DDPの重要性を説明でき、その進め方について助言または支援ができる。	

# ITC Common Body of Knowledge(CBK) Ver. 1.0 KPI一覧 (2005.6.30)

## 2-1. フェーズ別カリキュラム ( .経営戦略フェーズ .IT戦略策定フェーズ)

区分	.経営戦略フェーズ	.IT戦略策定フェーズ
1. 原則	<b>.1.1 全体概要と基本原則</b>	<b>.1.1 全体概要と基本原則</b>
	< KPI > 事業特性や環境要因を考慮して、適切な経営戦略の策定・形成・展開について、助言または支援ができる。	< KPI > IT戦略策定の進め方について助言または支援ができる。
	<b>.1.2 経営の成熟度</b>	<b>.1.2 IT化の成熟度</b>
	< KPI > 経営の成熟度を考慮して、適切な改善や改革の目標の設定について助言または支援ができる。	< KPI > IT化の成熟度を考慮して、適切な改善・改革目標の設定について助言または支援ができる。
2. カテゴリー	<b>.2.1 事業環境分析</b>	<b>.2.1 IT経営の意義</b>
	< KPI > 経営におけるビジョン・ミッション、事業ドメインの考え方を説明できる。 戦略を持つことの重要性を経営者に説明できる。 事業特性を考慮し、環境分析を行うための必要な助言または支援ができる。 環境分析等によってコア・コンピタンスを明確にし、経営改善・改革をもたらす施策の策定について助言または支援ができる。 企業構造とビジネスリスクを把握し、経営者に説明できる。 外部環境変化を把握し、経営戦略に反映することの重要性を説明できる。	< KPI > IT化のもたらす効果と潜在能力について説明できる。 経営方針がIT戦略に及ぼす影響を説明できる。 IT化における経営者の役割を説明できる。 IT化プロジェクトの特性に基づき、その推進方法について助言または支援ができる。
	<b>.2.2 戦略</b>	<b>.2.2 業務プロセス改革</b>
	< KPI > 経営戦略の策定・形成・展開について助言または支援ができる。 経営理念を達成するため外部環境・顧客・市場に対応した「組織構造と組織文化」を創造することの重要性を説明できる。 重要な戦略課題を抽出しその解決に向けたCSF(決定的成功要因)を導き、CSFを具体化する活動の立案について、助言または支援ができる。 活動の計画においては、活動相互の一貫性を考慮したモデル化が必要であり、そのモデル化について助言または支援ができる。 主要な活動に必要な情報の定義について助言または支援ができる。 事業特性を考慮し、戦略/戦術目標に対する到達度を測る業績評価の指標設定について、助言または支援ができる。 ユビキタス等のIT視点に基づく経営戦略について、助言または支援ができる。	< KPI > 業務プロセス改革やチェンジマネジメントの目標設定を指導できる。 業務プロセス改革とチェンジマネジメント成功の要件を組織特性を踏まえて助言または支援ができる。 改革・改善を促す原則とリーダーの役割を説明できる。 BPR、ベンチマーキング等の考えかたと実施にあたっての想定される諸課題および対応策について助言または支援ができる。
	<b>.2.3 プロセス改革</b>	<b>.2.3 内外IT環境評価</b>
	< KPI > 経営戦略を実現のために、プロセス改革が重要なことを説明できる。 経営戦略と整合するプロセス改革課題の抽出、アクションプランの策定・実行について助言または支援ができる。 ベストプラクティスの導入・ベンチマーキング等のプロセス改革手法について、助言または支援ができる。	< KPI > 業務プロセス・IT環境の現状分析と問題点の抽出の進め方について助言または支援ができる。 業務プロセス・IT環境の成熟度の評価の進め方について助言または支援ができる。 IT動向、ベストプラクティス、RFIの発行等IT外部環境の、調査・分析・評価の進め方について助言または支援ができる。
	<b>.2.4 顧客(満足とマーケティング)</b>	<b>.2.4 IT戦略策定</b>
	< KPI > 顧客・市場との良い関係が、組織と経営を構築する場合のCSFであることを、説明できる。 顧客の理解、顧客関係の強化、顧客価値創造、顧客満足増進等について助言または支援ができる。 顧客特性や事業特性等を考慮し、顧客や市場の適切なセグメント化を行うための助言または支援ができる。 市場調査の結果や苦情・不満などを含めた顧客のダイレクトな声に関するデータをとりまとめ、市場の動向・顧客ニーズおよび顧客満足度を明らかにするための助言または支援ができる。	< KPI > 経営戦略で示されたIT領域戦略課題における目標業務プロセス・目標IT環境の、具体化・実行可能性の検証の進め方について、経営およびITの成熟度に基づき助言または支援ができる。 目標業務プロセス・目標IT環境と現状業務プロセス・現状IT環境との比較分析およびギャップの把握の進め方について助言または支援ができる。 目標を実現するための課題を設定し、課題に対する実践的対応策について、経営戦略の趣旨(優先順位、投入資源、スケジュール等々)に基づき助言または支援ができる。
	<b>.2.5 知の経営</b>	<b>.2.5 IT戦略展開</b>
	< KPI > 「知の経営」の基礎概念とその重要性について、説明できる。 経営革新に「知の経営」を役立てる方策について助言または支援ができる。 「知の経営」を実行するためのステップ(「知」の収集、「知」の共有、「知」の活用)について助言または支援ができる。 人材開発、個人・組織能力のマネジメントについて助言または支援ができる。	< KPI > IT戦略に基づく短期の実行計画の策定のプロセスを理解し、実行計画の策定について助言または支援ができる。 対象業務のプロセス改革およびIT環境構築に関する方針の策定について、助言または支援ができる。 対象業務のプロセス改革・IT環境構築により、経営戦略目標が達成されることの検証の進め方について、助言または支援ができる。 経営戦略とIT戦略の整合性、IT戦略達成度評価およびIT化実行プロジェクトの活動のモニタリング&コントロールの機構の構築について助言または支援ができる。 IT戦略に基づくIT資源調達・IT導入フェーズに関する基本的方針の策定について、助言または支援ができる。
<b>.2.6 財務マネジメント</b>	<b>.2.6 セキュリティ&amp;リスクマネジメント</b>	
< KPI > 財務諸表やキャッシュフローにもとづいて、企業や事業の評価・分析について助言または支援ができる。 時価会計や知的所有権(無形資産)について理解し、企業や事業の評価・分析について助言または支援ができる。 管理および戦略会計における各種手法を理解し、企業経営について会計の視点から助言または支援ができる。	< KPI > 株主や顧客だけでなく、提携先等を含めた、より広いステイクホルダーを視野にいれたセキュリティ&リスクマネジメントの必要性を説明できる。 企業経営の成熟度とITの成熟度にあったセキュリティ&リスク対策について助言または支援ができる。 個人情報等の情報資産の評価・保護について助言または支援ができる。	
<b>.2.7 リスクマネジメント</b>		
< KPI > 企業の社会的責任と継続的発展のためにリスクマネジメントの必要性を説明できる。 「投機リスク」「セキュリティリスク」への対処方法について助言または支援ができる。 リスクマネジメント戦略の作成方針について助言または支援ができる。 企業の実態に合ったリスクマネジメント管理体制の構築について助言または支援ができる。		

# ITC Common Body of Knowledge(CBK) Ver. 1.0 KPI一覧 (2005.6.30)

## 2-2. フェーズ別カリキュラム ( .IT資源調達フェーズ .IT導入フェーズ .ITサービス活用フェーズ)

区分	.IT資源調達フェーズ	.IT導入フェーズ	.ITサービス活用フェーズ
1. 原則	<b>.1.1 全体概要と基本原則</b>	<b>.1.1 全体概要と基本原則</b>	<b>.1.1 全体概要と基本原則</b>
	< KPI > IT資源調達の各プロセスの進め方について助言または支援ができる。	< KPI > IT導入のモニタリング&コントロールについて助言または支援ができる。	< KPI > ITサービス活用のモニタリング&コントロールについて助言または支援ができる。
	<b>.1.2 IT資源調達の成熟度</b>	<b>.1.2 IT導入の成熟度</b>	<b>.1.2 ITサービス活用の成熟度</b>
	< KPI > IT化の成熟度を考慮して、IT資源調達の進め方の目標の設定について、助言または支援ができる。	< KPI > IT化の成熟度を考慮して、IT導入のモニタリング&コントロールの目標の設定について、助言または支援ができる。	< KPI > IT化の成熟度を考慮して、ITサービス活用のモニタリング&コントロールの目標の設定について助言または支援ができる。
2. カテゴリー	<b>.2.1 IT資源調達計画</b>	<b>.2.1 IT導入</b>	<b>.2.1 ITサービス提供</b>
	< KPI > 調達の範囲や時期および予算の、経営戦略・IT戦略との整合性を確認し、要件を確定するための助言または支援ができる。  調達関連外部情報の収集・検討について助言または支援ができる。  IT環境やITサービスレベルに関する要求事項の文書化について、助言または支援ができる。  導入方式・運用形態による特性を理解し、調達実施方法の相違について助言または支援ができる。  調達の評価と選択に使用する基準の作成について、助言または支援ができる。	< KPI > 経営戦略およびIT戦略と整合性のとれたIT導入実行計画の策定について助言または支援ができる。  情報システムの開発・テスト・導入の各プロセスを理解し、円滑なIT導入手順について助言または支援ができる。  IT導入方式ごとの、活動、考慮すべき事項、成果について説明できる。  IT導入方式に適合した方法を用いて、プロジェクトの実施状況および管理状況をコスト・品質・納期の観点からモニタリングし、改善の方向性について助言または支援ができる。	< KPI > ITサービス活用に関する詳細SLA(Service Level Agreement)の作成についてIT戦略策定フェーズでの企画、IT資源調達フェーズでの契約を踏まえ、助言または支援ができる。  ITサービス活用の主要なプロセスを理解し、適切なITサービスレベルマネジメントの仕組みの構築について、助言または支援ができる。  ITサービスの活用(ITサービスの提供と利用)が、コスト・品質・タイミングの面で、企業全体の全体最適の観点から適切に行われているか、現状把握・問題点抽出・解決方法などについて助言または支援ができる。
	<b>.2.2 RFPの作成と発行</b>	<b>.2.2 業務プロセス改革とチェンジマネジメント</b>	<b>.2.2 IT戦略達成度評価</b>
	< KPI > RFPに対して提案したベンダーとその提案を評価するための項目と重み付けの設定について、助言または支援ができる。  提案依頼事項、保証要件、契約条件について助言または支援ができる。  RFP作成・発行について助言または支援ができる。	< KPI > 業務プロセス改革やチェンジマネジメントの目標に対する準備状況をモニタリングし、改善の方向性について助言または支援ができる。	< KPI > 業務プロセス改革に必要なITサービスが提供され、その活用によってプロセス改革が行われ定着し、IT戦略を達成し、経営戦略目標達成に貢献していることを、モニタリング&コントロールすることについて助言または支援ができる。
	<b>.2.3 調達先の決定・契約</b>	<b>.2.3 総合テスト・移行</b>	<b>.2.3 IT環境の改革</b>
	< KPI > 提案されたソリューションの機能とTCO(Total Cost of Ownership)の検証方法について、助言または支援ができる。  評価基準に従い、提案書の内容を評価することについて助言または支援ができる。  IT関連契約の特性、調達方式・運用形態による契約の相違、SLAの重要性等を理解し、契約に記述する事項について、助言または支援ができる。	< KPI > 総合テスト・移行の計画立案、実施について助言または支援ができる。  新IT環境移行の判断にあたって考慮すべき点を説明できる。  総合テスト実施状況、プロセス改革実施状況を総合的に判断して、移行可否について助言または支援ができる。	< KPI > ITサービスをより「安く・早く・信頼度高く・安全に」提供する視点から、IT環境の継続的改革に取り組むことについて、助言または支援ができる。  ITサービス活用の総費用対総効果という投資対効果の視点から、IT化の経営における役割と課題を明らかにすることについて助言または支援ができる。
	<b>.2.4 IT導入計画策定</b>		<b>.2.4 業務プロセス改革の提言</b>
	< KPI > 確定したIT資源を前提に、IT導入フェーズに引き継ぐIT導入計画の策定について助言または支援ができる。  IT導入プロセスを遂行するために必要なプロジェクト編成について助言または支援ができる。		システムのライフサイクル・IT動向・業務プロセスの変質・経営環境の変化等の視点から、業務プロセス改革の提言をすることについて、助言または支援ができる。